



# ひらく

学校を開き、生徒の未来を拓く

## ◇自分の命を大切にできる夏休みへ

9月1日までの44日間の夏休みが明日からスタートします。生徒たちは思い思いの夏休みの計画を立て、「一人でも頑張れる夏休み」がスタートします。地区によって違いはあるかもしれませんが、朝のラジオ体操に始まり、学習活動、探求活動、部活動、趣味、友人と遊ぶこと等を通して、自分の将来についても真剣に考え、「未見の我を知る」ことができる夏休みになることを願っています。

さて、充実した夏休みを過ごすためには、「命」があってのことです。過去に川での水難事故にあり、命を落とした教え子がいました。まだ高校3年生でした。お葬式に参列しました。中学生の時の同級生も集まり、ご家族含め、皆が悲しみに打ちひしがれました。部活動を引退し、仲間との思い出づくりのために川へ行ったそうです。岩場から飛び込んだ後、姿が見えなくなり、下流まで流され、命を落としたと聞きました。こうした悲しい事態を防ぐ第一歩として、ご家庭での毎朝の会話として「**今日は何をするのか。誰とどこに遊びに行くのか。何時に帰るのか。**」と口酸っぱく会話を交わすことです。子どもは、困った状況に遭遇したとき、親との会話が思い出され、非行防止や危険行為の防止に役立つと言われています。岐阜県のWebページでは、水難事故に関するQ&Aが分かりやすくまとめられています(QRコード参照)。QRコードを読み取り、お子さんと水難事故に関する情報を共有してください。



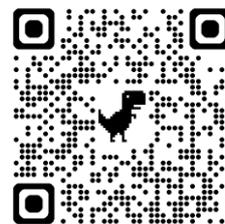
岐阜県「水難事故等に関するQ&A(よくある質問)」

夏休み期間中、平和登校日や部活動、学習会等で学校に登校する日があります。異常な暑さへの対策として、甲子園で行われる夏の高校野球は、午前中と夕方5時以降の2部制で試合が行われる日もあります。夏休みの部活動では、暑さ指数(WBGT)を活動前や活動中に測定し、活動内容を変更したり、活動を中止したりするなど、熱中症対策を行います。例年、猛暑と不規則な生活が重なり、夏休みの部活動中に体調を崩す生徒がいます。猛暑の中、学校内外の活動に元気に参加するためには、お子さんが作った夏休みの計画表を共有していただき、規則正しい生活が継続できるように、親子で時間の使い方等を話題にさせていただきたいと思えます。

## ◇スマートフォンの使い方を見直す夏休みへ

先日、講師をお迎えして、校内で情報モラル講話を行いました。ご家庭では、スマートフォンの使い方のルールを決めたり、フィルタリングソフトを活用し、有害コンテンツにアクセスできないようにしたりするなど、お子さんが安全に使えるように対応をいただいていると思います。

先日行われた情報モラル講話では、ゲーム課金の恐ろしさや、友達の写真を許可なく加工し、他の友達にSNSを通じて送るなど、遊びでは済ませることができないという内容でした。スマートフォンの使い方に関心があることがあれば、お子さんと一緒にルールの見直しをすることや、「お父さん(お母さん)は、〇〇のことを心配しているよ」という「Iメッセージ」を送るなども有効な方法だと言われています。また、スマートフォンを使ったトラブルが発生し、加害者や被害者になった場合、解決に向けて大変苦勞する対応を親子でしなければならないということを、共有しておくことが未然防止につながります。



総務省「上手にネットと付き合おう！」

もし、スマートフォンによるトラブルが発生した場合、親子で次のような対応が求められます。

- ・「ネットトラブルの加害者の特定」
- ・「LINEなどのSNS等を使って、ネット上にあげたり、流出したりした画像や動画等の削除や回収」
- ・「トラブルの解決」などです。

インターネット上には、小中学生のスマートフォンにまつわる様々な失敗談や事例が掲載されています(QRコード参照)。失敗談や過去の事例から親子で学び、正しい知識を得ることでネットトラブルを予防することもできます。参考にしてください。